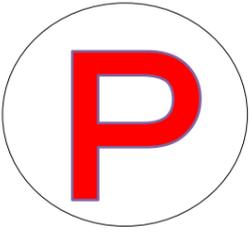


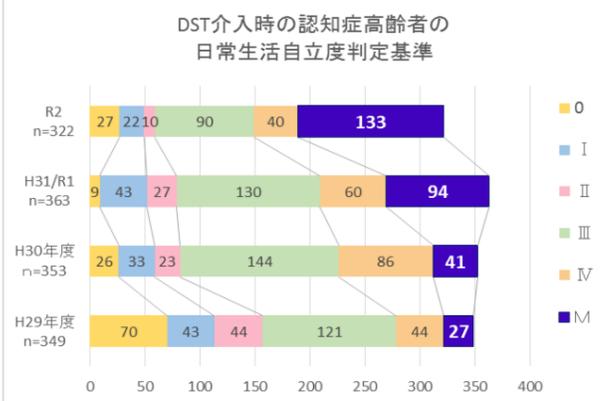
令和3年度PDCAサイクル(認知症・せん妄ケアサポートチーム)



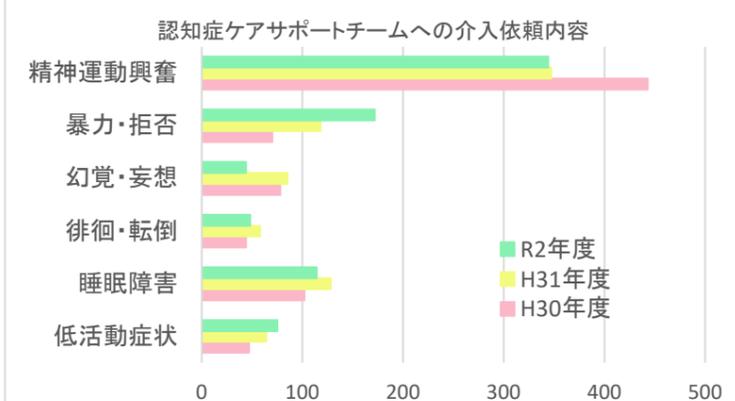
計画

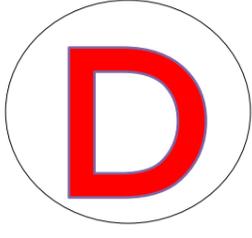
昨年度せん妄のスクリーニングを行う仕組みを確立した結果、認知症ケアサポートチーム(以下、DST)の介入は、認知症高齢者の自立度判定基準でMランク(著しい精神症状等)の方が増加し、認知症に合併したせん妄症状への対応を求められる結果となった。そこで、今年度はスクリーニングを行うだけでなく、それぞれの病棟でせん妄への適切な初期対応が実施できることを目標に、研修会を実施したり、DSTとして病棟の支援を実施する。

DST介入時の認知症高齢者の日常生活自立度判定基準



認知症ケアサポートチームへの介入依頼内容





実行

中等度以上の認知症患者に対するケアの向上とせん妄対策の充実を図った。

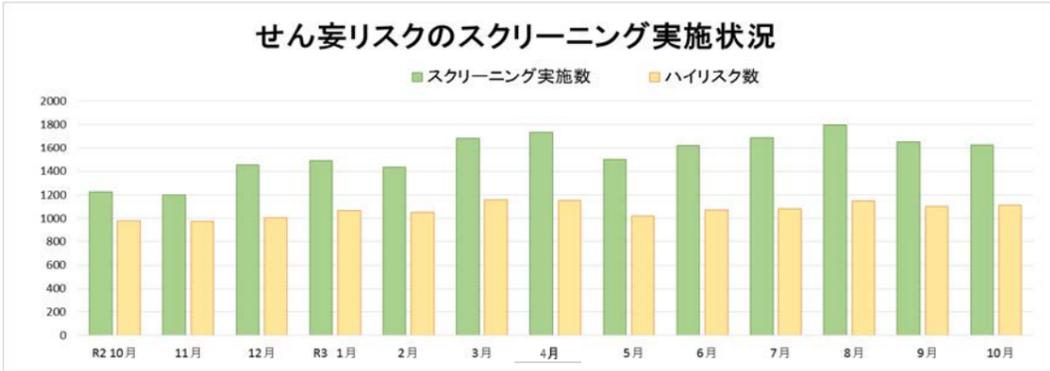
1. **せん妄ハイリスク患者をスクリーニングする体制の見直しを行った。**
 - 1) マニュアルを改定して、スクリーニング方法をわかりやすく示した。
 - 2) せん妄リーフレットの見直し・改定を行った。
2. **認知症とせん妄について研修会を実施した。**
 - 1) オンデマンド配信により多くの職員が視聴できる研修を実施した。
 - 2) 希望者を対象に、対面での研修会も実施した。
 - 3) 院内認定看護師コースでせん妄の勉強会を実施した。
3. **認知症ケア担当者会(年7回)を実施し、現状の把握と教育を行った。**
 - 1) 現場の状況を把握し、現状に即したDST活動を行った。
せん妄予防対策については、DST担当者が中心となり、各部署スタッフへ周知できるよう依頼した。
認知症ケア担当者会議時に、病棟で問題になっていることを確認しながら、追加修正していくことができた。
 - 2) 事例検討を行い、質の高いケアについて病棟を超えて知識を共有してもらった。

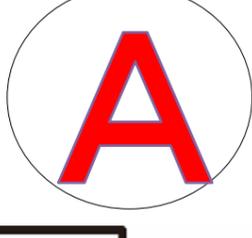


評価

1. **せん妄リスクのスクリーニング**
・スクリーニング開始時(R2年10月)に比して、実施数は増加しており、ハイリスク患者も適切に抽出できている。
2. **認知症ケア研修会の受講実績**
・オンデマンド配信により多職種の職員に対してせん妄対策を啓発できた。
(多職種の職員が受講、特に看護職員は100%受講終了)

せん妄リスクのスクリーニング実施状況





改善

引き続き、中等度以上の認知症患者に対するケアの向上とせん妄対策を推進する。

1. **認知症・せん妄ケアの質の向上**
 - 1) 病棟スタッフとの情報共有を積極的に行い、現場のケアの質向上に努める。
 - 2) 個別性の高いケアが必要な患者には、チームスタッフが積極的に介入する。
2. **せん妄予防対策の再構築**
 - 1) ハイリスクとして抽出された患者に対してのケアの質を向上させる。
 - 2) 身体抑制を外せるようなケアの工夫
 - 3) 転倒転落を減らせるような多職種カンファレンスの実施
 - 4) 入院前から患者・家族に対してせん妄教育の更なる強化(入院支援看護師や外来看護師と協働)
3. **せん妄についての教育を推進**
 - 1) COVID19感染拡大の状況を勘案した上で、現場のニーズに即した研修会を企画する。
 - 2) 認知症ケア担当者会議を通じて、屋根瓦方式による現場教育を推進する。